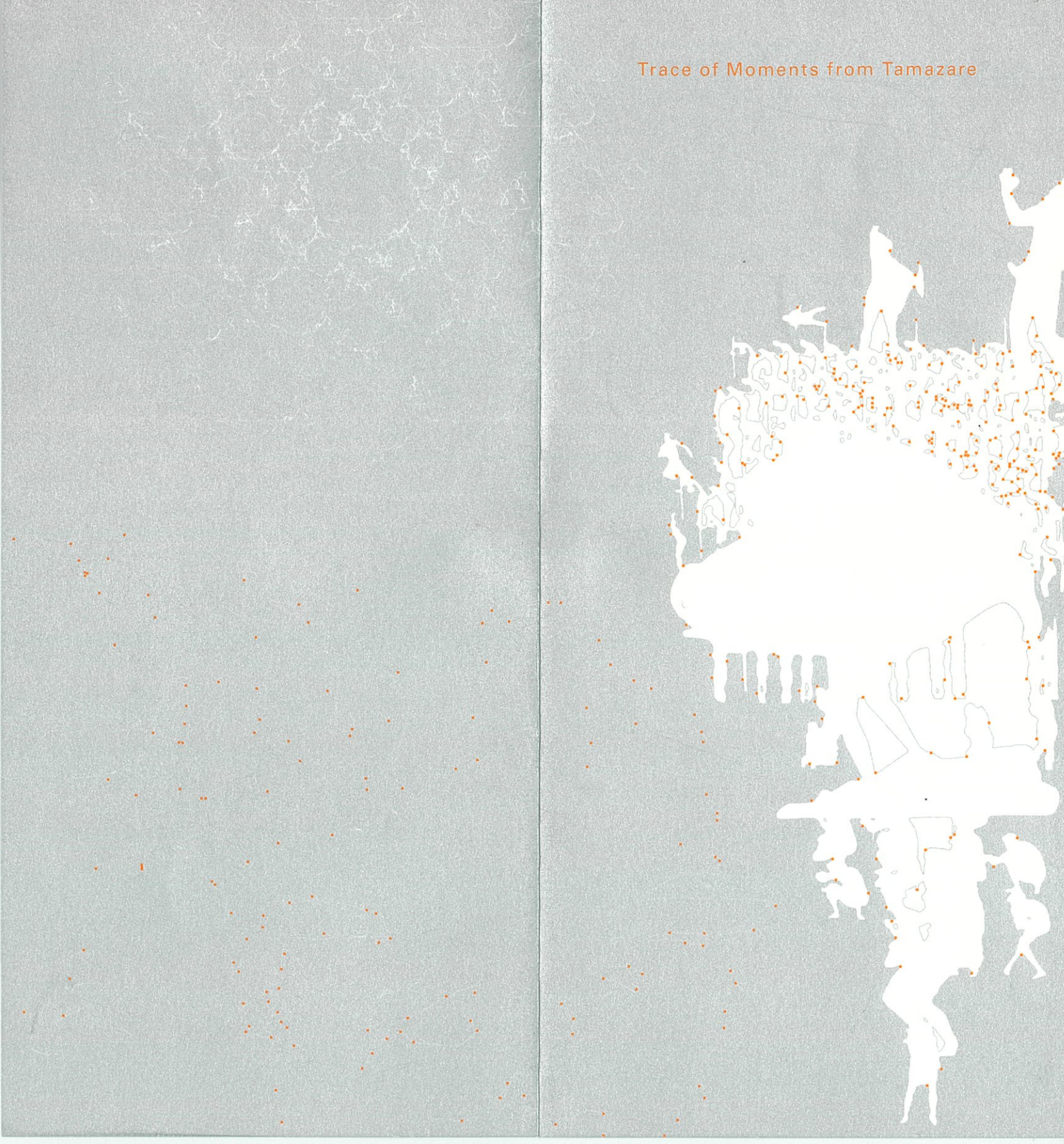


Trace of Moments from Tamazare



京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催
映像インスタレーション & トーク

「『魂戯れ』の記憶の記録」(タイム・コラージュ)

2007年9月20日(木) - 28日(金)
午前11時 - 午後6時

会場: 京都芸術劇場 春秋座 ホワイエ
入場料: 無料

[オープニングトーク開催のお知らせ]

日時: 9月20日(木) 午後6時30分
会場: 展示会場(京都芸術劇場 春秋座 ホワイエ)
出演: 鷹赤兒(大駱駝艦主宰)、木村隆志(REM SKETCH)
八角聡仁(批評家)、森山直人(演劇評論家)
参加費: 無料 ※定員: 50名(要申込)

お問い合わせ・お申込み: 京都芸術劇場チケットセンター
電話: 075-791-8240 ファクシミリ: 075-791-9438
e-mail: ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

舞台芸術研究センターでは、「記録と記憶」をキーコンセプトに、京都芸術劇場で行われる主催公演の映像記録製作を通じて、舞台作品の記録の可能性を探ってきました。

これは、一回性を特徴とする舞台芸術が、絵画、写真、ビデオなどの記録媒体を通じて再現されることの意味を考察し、その上であらためて、一回限りの観劇体験とその舞台の記憶にもっとも適した記録方法を模索する試みです。

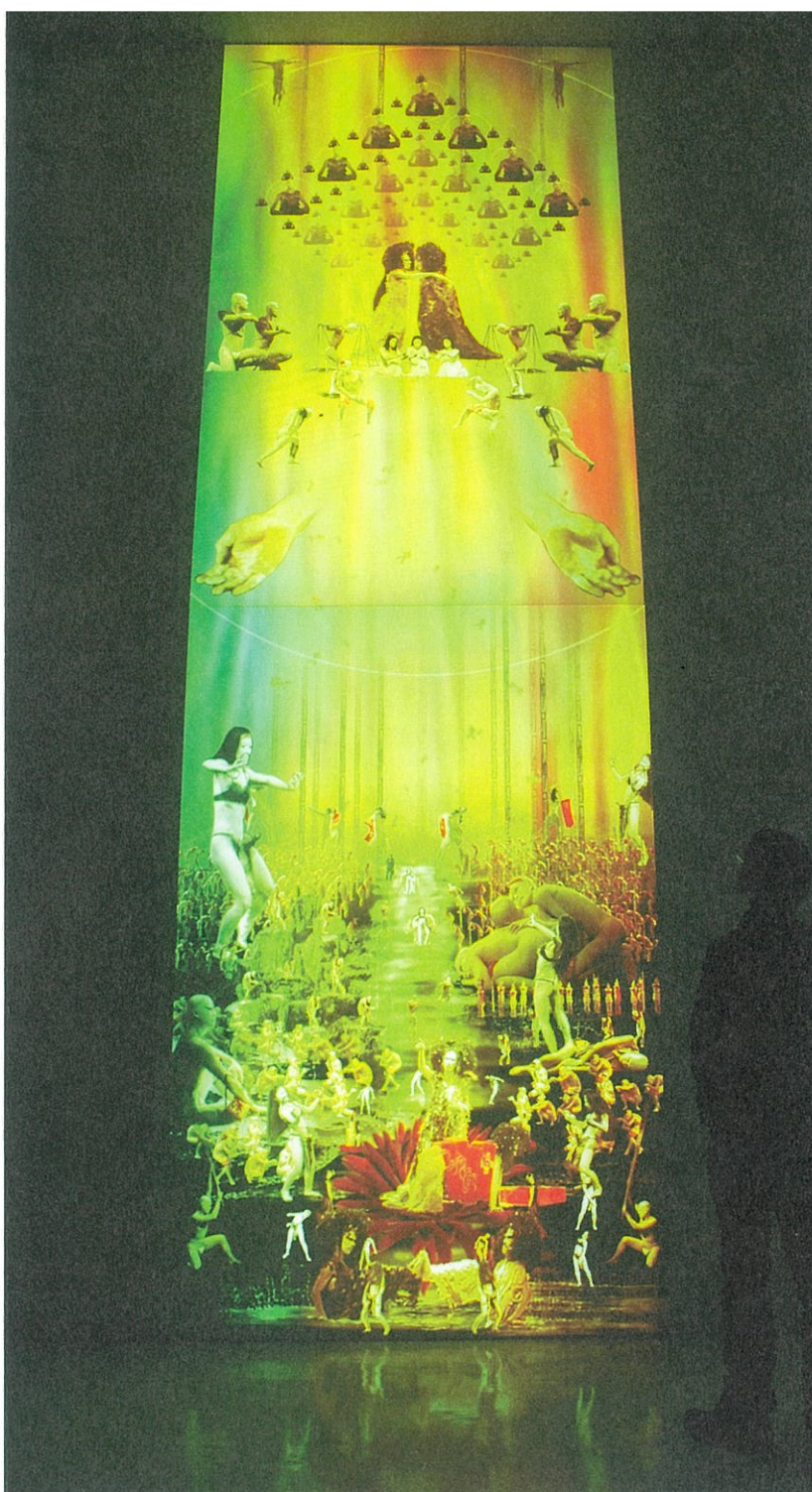
映像製作チームREM SKETCHによる「『魂戯れ』の記憶の記録」(タイム・コラージュ)は、時間軸に沿って再現が行われる一般的な映像記録と異なり、5台のビデオカメラで収録された『魂戯れ』(大駱駝艦、03年、春秋座)の舞台映像を一度解体して、絵巻物の「異時同景図」のように、各場面を一つの画像のなかに空間的に再構成した映像記録作品となっています。

春秋座のホワイエに設置された高さ約6mの特殊スクリーンに乱舞する白塗りの舞踏ダンサーたちの動画映像は圧巻です。舞台芸術の記録をめぐる新たな可能性を探求した映像インスタレーションをどうぞお楽しみください。

【京都芸術劇場へのアクセス】

- JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→ 京都市バス5番「岩倉」行き乗車。
「上総町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)
- 市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅から
→ 京都市バス204循環に乗り、「上総町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電鉄「出町柳」駅から
→ 阪急電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
→ タクシーで10分
- 駐車場はございません。

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〒606-8271 京都市左区北白川瓜生山2-116
電話: 075-791-9437 e-mail: info@k-pac.org http://www.k-pac.org



【REM SKETCH プロフィール】

京都を拠点に活動する映像製作チーム。2002年より舞台芸術研究センター主催の上演実験シリーズの映像記録を担当し、再現性を求めた記録方法ではなく、作品のコンテンツに合わせた多種多様な実験的手法で、舞台作品の記録とアーカイブの可能性を探究。「『魂戯れ』の記憶の記録」の特殊編集は、木村隆志・上峯敬・今尾日名子の3名によって製作された。